

十二支の話こ (津軽弁)



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
イラスト：うじいえ ひろみ
カラーリング：みやかわ みなみ

昔、曆ずものあ十二の数から作られたんだと。

し（子）、ちゅう（丑）、いん（寅）、ぼう（卯）、しん（辰）、し（巳）、ご（午）、
び（未）、しん（申）、ゆう（酉）、じゅつ（戌）、がい（亥）、の十二であたど。

暦は作る神様、こればもっとみんなさ、わがりやすぐして使わせるべど思って、それぞれの年さ動物の名前こばあではめる事にしたど。

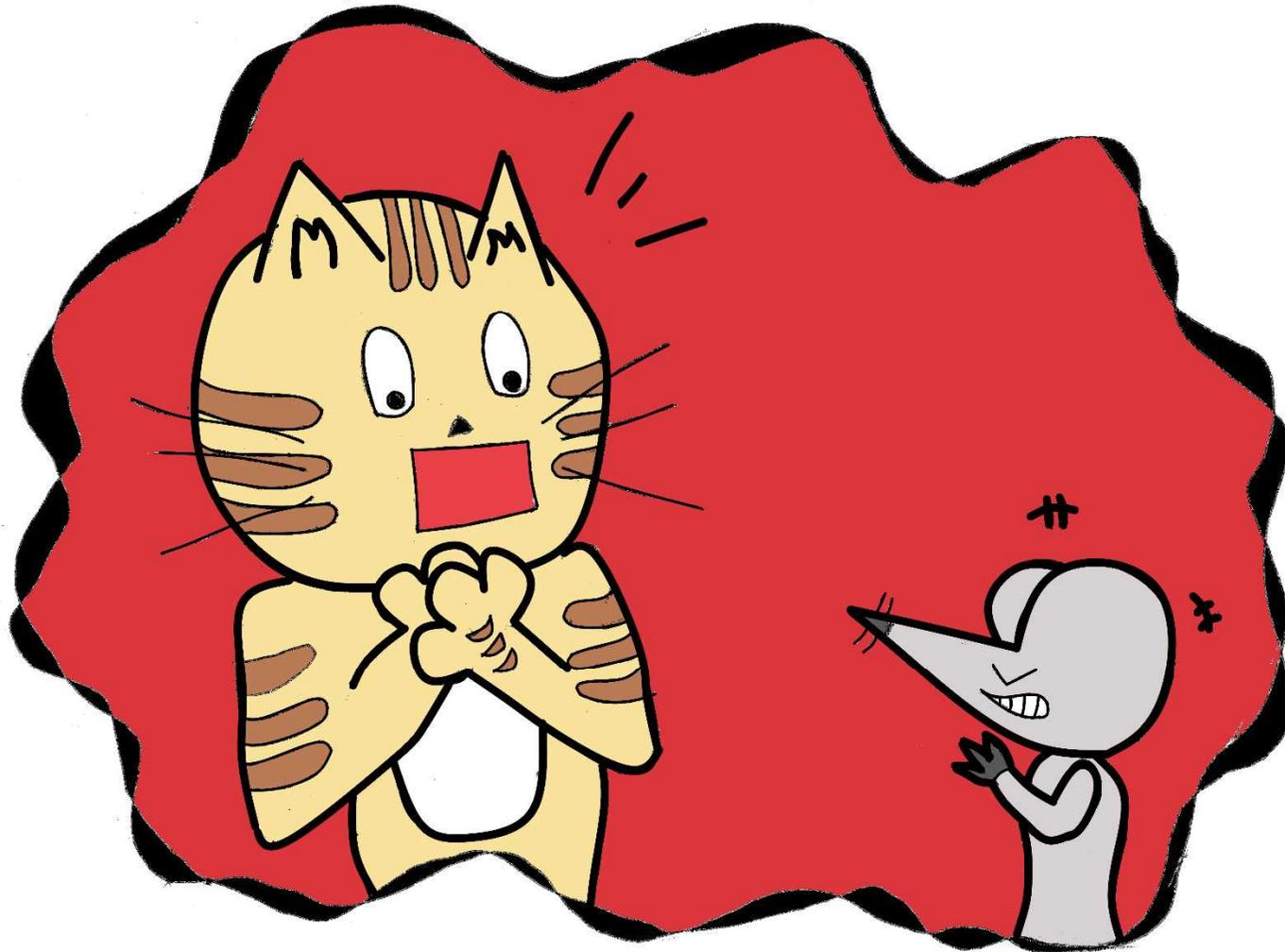
世界中の動物さふれば出して何時何日（いづいつか）朝間早ぐきた者から順番に決めるてしたど。



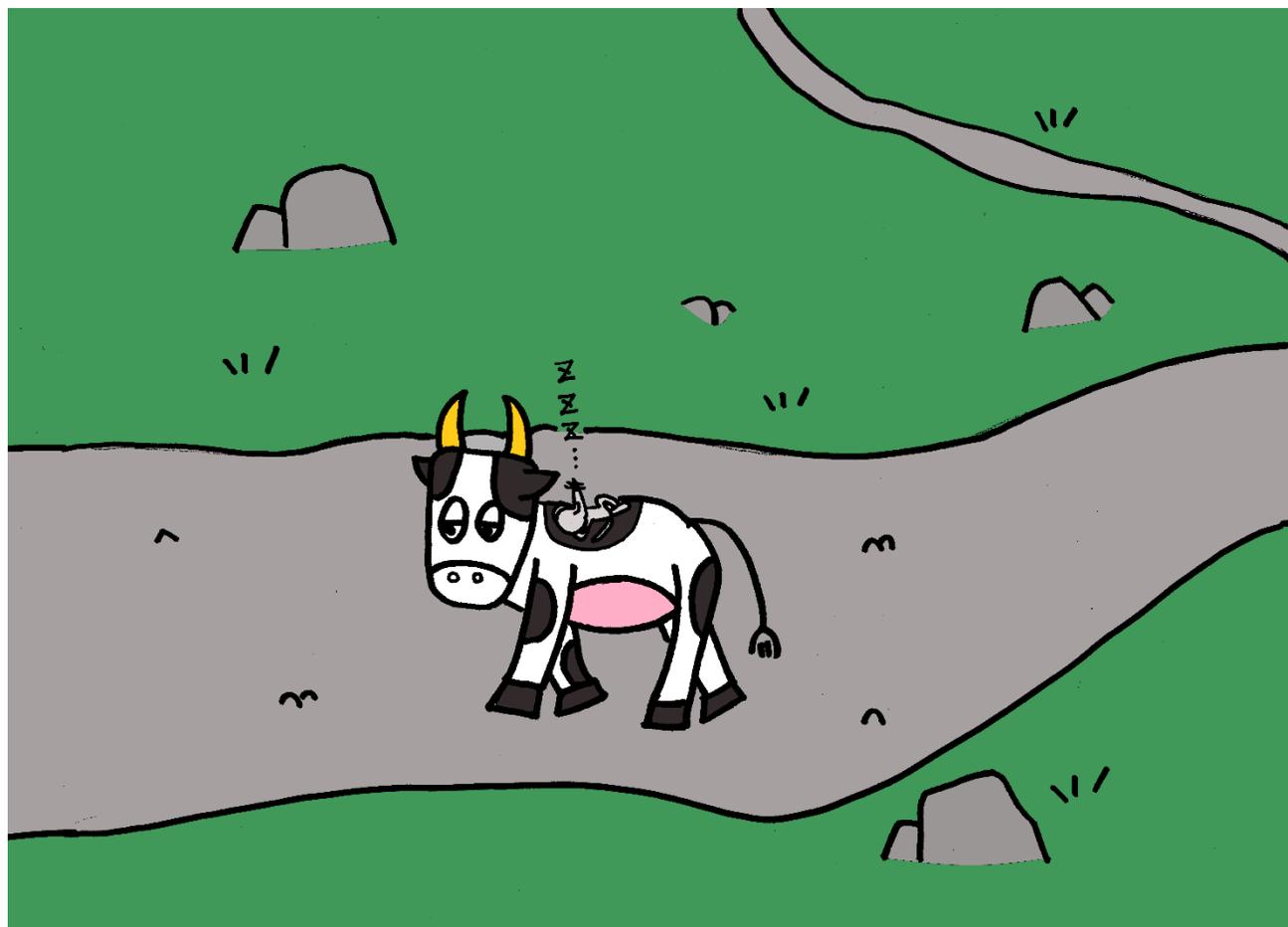
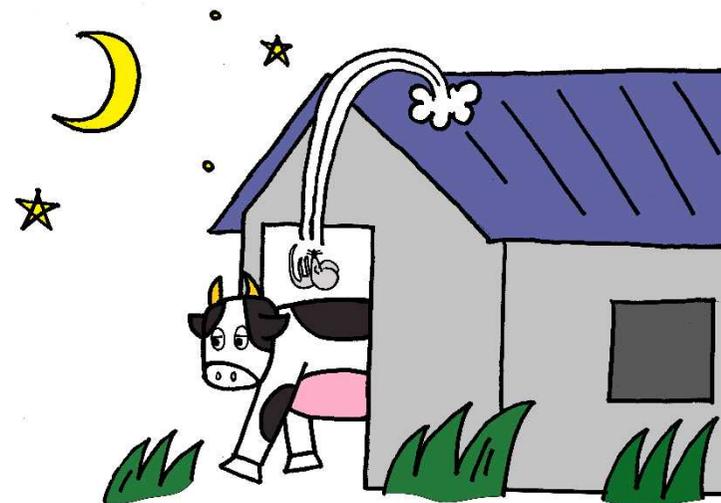
牛（べこ）あせ、ろお、足おそいもんだどごで、前の晩（ばげ）がら支度して、夜中にはもう出掛けだど。

それがら、ねずみは、ろお、賢いべ。だいたい干支の頭になるぐれえだはんでな。猫あ少しほんじねくてよ。あれ？いつだっけ？て日にち忘れて、ねずみの所さ聞きに行ったずおん。

ねずみあ、ずる賢くてせ、猫ば遅らへる気なて、「あさっての朝間だね」て、一日遅い日は知かへだど。



さて、ねずみあ自分では牛小屋の上で待機してでせ、夜中に牛あ出掛ける時に、ちよんと牛の背中さ飛び乗ってそのまま行っただ。



牛あ、もたらもたらすもんだばて、それでも急ぎに急いで、神様決めだゴールのお社まで来たきや、まんだ誰も来てねがったど。

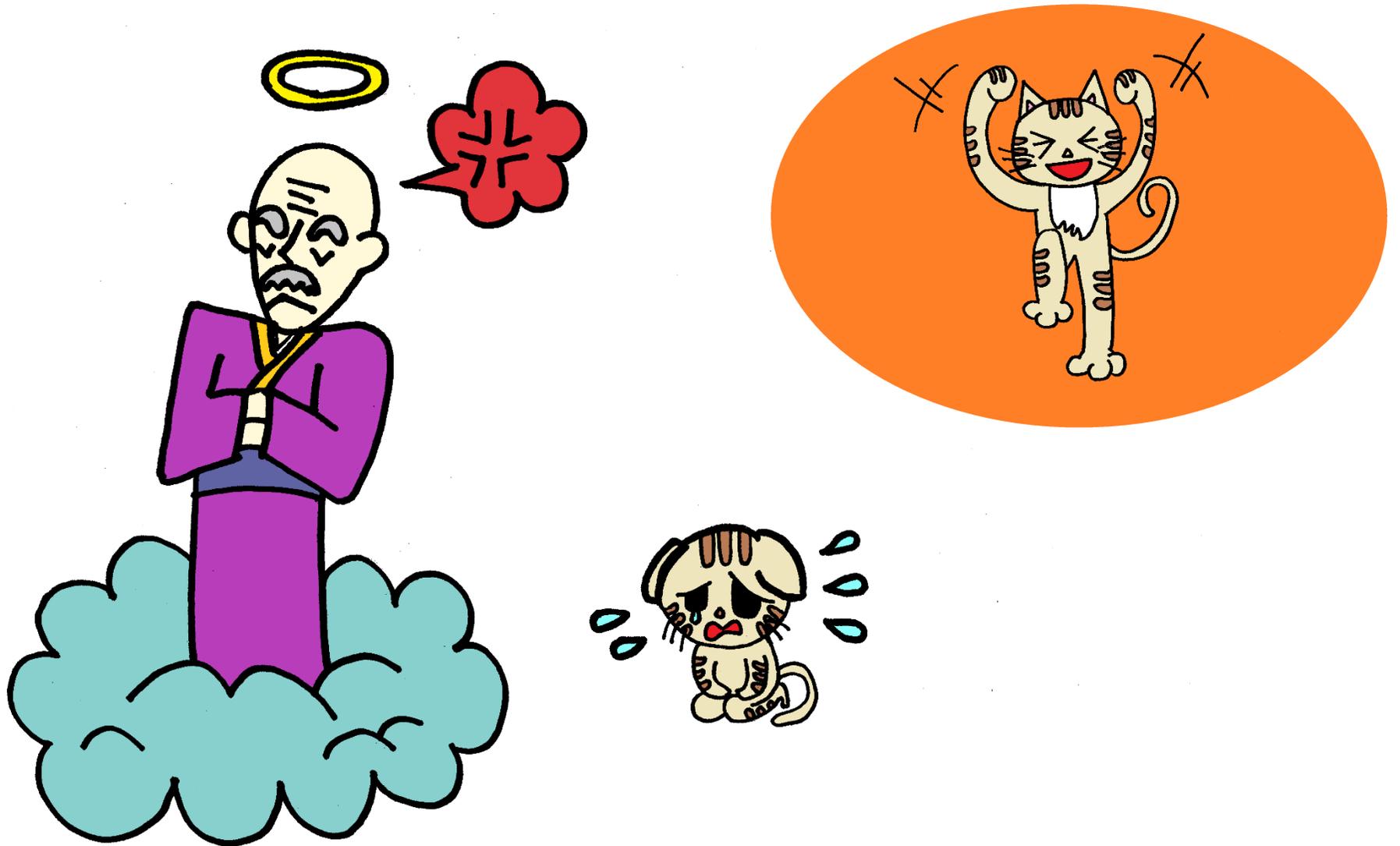
『やったあー！わ、一番だ！』て叫んだきや、もう一歩か二歩の所で、ねずみあポーンと牛の背中から跳ねで牛の前さ出だど。

それで、ねずみあ一番になって、その次あ牛、それがら次々と走けで来た順番に、寅、卯、辰・・・て決まったど。



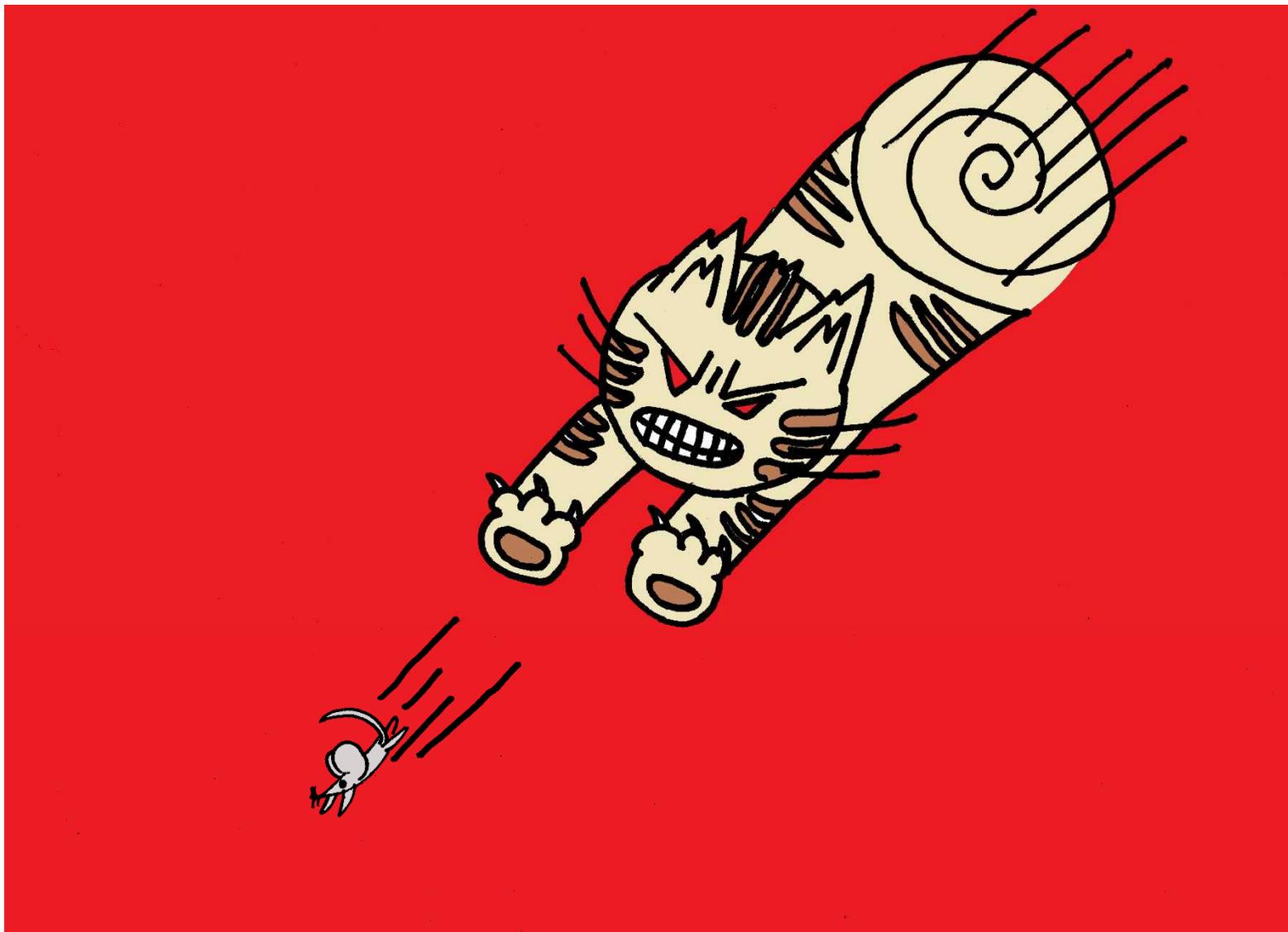
猫あせ、ろお、その次の日、こん早く神様の所さ来て、
『あらあ、誰も来てねじゃ。わ一番だ！わ一番だー！』大よろこびして叫んだど。

神様、呆れでまで、『何、寝ぼけでらんだば。それあ昨日みんな終わてまたんだね。なんぼ
ホンジねえ猫だば。顔でも洗って出直さなが』て叱ったど。



したはんで、それがら猫あめぐせがて、むったど顔ば洗うようになったんだど。

それがらねずみば見れば、むったど追いかげでかみ殺して怨みばはらすきなるんだど。



とっちばれ